

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 信太 秀紀

副会長 宮内 龍雄

幹事 田中 英子

会計 金子 芳則

2014～2015年度 RIテーマ

ロータリーに輝きを

LIGHT UP ROTARY

2014～2015 RI会長 ゲイリー C. K. ホアン

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館 5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館内

電話 0479-25-3111(会館)

0479-23-0750(専用)

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2840号 (2015年2月4日発行)

今週のプログラム

「RYLAに参加して」

交換留学生 Andrew Scott DAVEY 君

高瀬 幸雄会員

前回例会報告 (1月27日)

銚子 RC・銚子東 RC 合同例会

会場：銚子プラザホテル

点鐘 (18:30)：銚子東 RC 石井哲也会長

国歌君が代斉唱

ロータリーソング：「それでこそロータリー」

ビジター紹介：

千葉科学大学 環境危機管理学科

講師 糟谷 大河様 (卓話者)

米山奨学生 ピョーサンディマウン様

(銚子東 RC)

交換留学生 Andrew Scott DAVEY 君

会長挨拶

こんばんは、本日は恒例の銚子ロータリークラブと銚子東ロータリークラブの合同例会です。今年は東クラブが担当ということで挨拶を申し上げます。

先日は故・山口廣雄会員の通夜・告別式に多くの方々の参列をいただいたことをこの場を借りて御礼申し上げます。古くからの会員がまた1人居なくなってしまう寂しい限りですが、この悲しみを乗り越えて新たな歴史を作っていくよう努めていきたいと思っております。

歴史といえば、大内恭平会員は昭和40年2月に銚子ロータリークラブに入会しており、この2月24日でロータリー歴50年を迎えるということですのでお知らせしておきます。

▼石井哲也合同例会ホストクラブ会長ご挨拶



石井哲也銚子東 RC 会長

さて今日は、千葉科学大学の糟谷大河先生に「房総のきのこ今昔」というテーマで卓話をさせていただきます。キノコといえば食べるものという程度の認識しか私にはありませんが、以前に住んでいた北海道ではキノコ採りの好きな人たちが多く、季節になると山に入る人が私の周りにもいました。たまにはお裾分けを頂戴するのでありがたいのですが、本格的にキノコ採りをする人たちはそれぞれに自分だけしか知らない場所を持ち、なかなか人には教えないという秘密主義に徹している人が多いと聞きますが、今日は時間の限りがあるとはいえ、私たちの知らないキノコの世界をいろいろ教えていただけるのを楽しみにしておりますので、この後よろしく願いいたします。

今日の論語です。子貢問曰、有一言而可以終身行之者乎。子曰、其恕乎。己所不欲、勿施於



第2790地区

ガバナー 宇佐見 透 (千葉幕張RC)

広報・会報委員会 委員長 宮内 清次

副委員長 石毛 充 委員 越川 信一、兒玉 英子



仁。(子貢問うて曰く、「一言にして以て終身之を行ふべき者あるか。」子曰く、「其れ恕か。己の欲せざる所人に施す勿れ。」)

これは、子貢がたずねた「ただの糸ことで、一生行っていけることはありますか？」孔子がいわれた「それは恕(思いやり)だね。自分がして欲しくないことは他人に対しても決してしないことだ。」というように解釈されています。ロータリーの精神にも通じているような気がします。

本日は、例会終了後に懇親会も開かれます。行き届かぬ点もあろうかと思いますが、そこは恕の精神でご寛容願えればと思います。結びに両ロータリーの友情と親睦が益々深まることを祈念し挨拶とさせていただきます。



➤両クラブ会長・幹事

幹事報告

1. 地区大会WEB登録締切について
2. 習志野中央RCよりローターデー開催のお知らせ
3. 2015年2月のロータリーレート
1ドル=118円
4. 平山金吾PGを偲ぶ会のご案内
以上、ガバナー事務所
5. 国際協議会 現地報告-2
…ガバナーエレクト事務所
6. 青少年交換留学生飯田佳奈さん第4回月例報告
…地区青少年交換委員会

卓話

房総のきのこ今昔

千葉科学大学 危機管理学部

環境危機管理学科 講師 糟谷 大河 様

きのこという食材としてのイメージが強いですが、自然界では、どこで、どのように暮らしているのでしょうか？本日は、房総の自然の中で、人間とかかわりながら生活するきのこの姿をご紹介したいと思います。

そもそも、きのこは何者なのでしょう？実は、きのこはカビや酵母と同じ仲間、これらをまとめて菌類と呼んでいます。我々の生活

の中では、きのこは食品あるいは薬用資源とし



て重要ですが、カビや酵母も重要な役割を果たしています。銚子は醸造産業が盛んな地ですが、銚子で作られる醤油や酒をはじめ、日本人の食生活を支える調味料の多くが、カビや酵母を用いて製造されています。このように、菌類は私たちの生活になくてはならない存在なのです。

房総半島は温暖湿潤な気候で、菌類にとっては住みやすい環境です。銚子で醸造産業が発展したのも、気候の影響によるところが大きいです。さて、きのこは、自然界では植物、特に樹木と密接にかかわりながら生きています。このため、房総のきのこの生活を探るために、まず房総の森林について考えてみましょう。

房総半島には、温暖な気候を好むシイやカシなどの照葉樹が分布しています。猿田神社や渡海神社には、スダジイやタブノキなどからなる照葉樹林が残されています。また、香取市の府馬の大クスは、日本でも指折りのタブノキの巨樹です。このような照葉樹林は、太古から房総半島を覆っていた天然の森です。一方で、房総の地には古くから人間が住み、照葉樹林を切り開いて生活してきました。現在の千葉県に存在する森林のうち、天然の照葉樹林はごく一部で、ほとんどは過去に人手の加わった、二次林と呼ばれる森林です。房総の二次林のほとんどはマツ林で、里山を構成する主要な要素となっています。里山は、二次林、水田や畑などが混在し、人間の影響を受けて成立した自然です。房総の里山では、人間がマツの落ち葉を肥料にしたり、木炭生産をしたりするためにマツ林を利用してきました。こうして、照葉樹林からマツ林へと、房総の森林は姿を変えてきたのです。

江戸から明治・大正にかけての記録によると、現在の松戸市や成田市、そして銚子にかけての下総台地には、広大なマツ林が広がっていたこ

とが明らかとなっています。マツ林には、ハツタケ、アマタケ、シモコシ、ショウロなどの食用きのこが生え、人々のきのこ狩りの対象となってきました。銚子周辺では、ハツタケはあおはつ、シモコシはきんたけと呼ばれ、これらは銚子をはじめ房総の人々が最も好む野生の食用きのこです。人々の食文化や嗜好が、ふるさとの景観に根ざしている好例と言えるでしょう。

ところで、これらのきのこはマツと菌根を形成し、共生していることが知られています。菌根とは、植物の根ときのこの菌糸が一体化したもので、菌根では植物ときのこの間で栄養分の交換が行われています。マツは栄養が乏しい土を好む樹木で、同様にマツと菌根を作るきのこも栄養が乏しい土を好みます。房総のマツ林では、人間が絶えず落ち葉をかき集め、下草を除去して掃除していたため、マツ林の土は栄養が乏しい状態に保たれてきました。このことから、マツときのこの共生関係も活性化されていたのです。里山にはマツ、きのこ、人間の3者の共生関係が成り立っていたとも言えます。



ところが、高度経済成長以降、人間は里山のマツ林を利用しなくなりました。この影響でマツ林は掃除されなくなり、マツ、きのここと人間



卓話を熱心に聴講する両クラブ会員

の共生関係が失われ、マツ林が衰退していきました。マツ林が衰退すると、シイやカシの照葉樹林へと姿を変えていきます。市川市の国府台は、江戸から大正まではマツ林が存在していましたが、現在は照葉樹林となっています。また、現在の房総の里山には荒廃した森林も増えています。

そこで私たちは、きのこ栽培を通じて、荒廃した里山の自然を再生できないか模索しています。銚子の里山において、バカマツタケとニオウシメジという野生食用きのこを生産し、新たな地域資源として発信していければと考えています。バカマツタケは、房総では照葉樹林に多く発生し、マツタケに似た優れた食用きのこです。このきのこは照葉樹と菌根共生するため、銚子の照葉樹林でバカマツタケを生産でき

れば、銚子の森林を活性化できると考えています。一方、ニオウシメジは畑や草原に発生する巨大なシメジの仲間、こちらも美味なきのこです。銚子の耕作放棄地でニオウシメジを生産することができれば、遊休地の活用につながります。このように、きのこを通じて、地域の自然環境を再生させ、地域振興に貢献できればと考え、日々研究に取り組んでおります。

懇 親 会

例会終了後



←信太銚子RC会長の開会挨拶
東クラブ親睦委員会の皆さんご協力本当に有難うございます。時間の許すかぎりお楽しみ下さい。

乾杯のご発声は
宮内龍雄銚子RC
次年度会長



←
司会進行は星野隆銚子東RC
親睦委員長



↑「佐藤直子と烏合の衆」パフォーマンスの一コマ



閉会のご挨拶
藤崎一成銚子東RC次年度会長



最後に手に手つないでを唱和（御苦勞様でした）

私の職業奉仕

栢尾 茂会員
(親睦活動委員会委員)



私が銚子に着任し早4年と3ヶ月が経過しようとしています。

その中で、私の経験した、NTT社員の職業奉仕的な行動を3点ほどご紹介いたします。

●営業社員により故障修理

それは東日本大震災の発生の時でした。私のところは営業支店ですので、被災地で営業活動ができるはずもなく、上部からも暫く営業活動自粛の指示がございました。

そのとき、社員から、「我々は皆現場のベテラン社員です。少々の故障なら我々で復旧可能です。我々に故障修理をやらせて下さい。」と直談判がありました。私はやるからには、きちんとした品質の担保も必要であるため少し考えましたが、この状況の中では、まずは不通になった電話を回復させることが最優先と思い許可いたしました。それから、社員は一斉にお客様の故障修理に奔走してくれました。

●116担当社員のお客様対応

銚子のNTTビルに入っている116の受付センターでの話です。

その電話は被災されたお客様が一時的に避難先に引越すため電話を移転したいという内容でした。通常であれば対応は5分で終了する内容です。しかしそのお客様は今回の震災で大きな被害を受け心身に疲れていたのでしょうか。オペレーターに震災での苦労話を始めたそうです。そしてその時、そのオペレーターは、ただただお客様の話に耳を傾け数十分に渡り聞いて最後には涙声で対応を完了させたとのことでした。

私の会社(本社)にはお客様相談センターがあり、そこではお客様からの苦情を受け、現場にフィードバックしてサービス品質を向上させるというシステムがあります。数日後、そこには、苦情ではなく、そのお客様からの感謝のコメントが寄せられたのです。この話は全現場に伝えられそれを聞いた私たち全員が、震災の最中、ギリギリの状態です仕事をカリカリしながら裁いていましたが、こんな時こそお客様に寄り添う姿勢は大事だなあと深く感銘を受けました。

●NTT社員による学校の樹木の伐採

ある日、市議会議員より、「●●小学校の前の樹木が大分成長したため、校舎に光が届かず困っている。本来であれば市で予算化して伐採作業を実施するのだが、予算計上できなかったため、NTTでやってくれないか、大分前に一度やってもらったことがある。」との話をいただきました。過去の経緯を確認したところ、確かに大分昔に、我社の設備部門の高所作業車とチェーンソーを扱える社員がボランティアで伐採作業したことがあるとのこと。

しかしながら、私は営業支店の長であり、本来業務ではない、しかも危険が伴う作業を設備部門の方にはお願いはできないのでお断りしようと考えていると、うちの社員で設備部門の経験も有りチェーンソーを扱え、当時作業を経験した社員が自ら設備部門に根回しを行い、作業を実施する運びとなりました。高所作業車・チェーンソー2台、その他作業員総勢10名程度で1日作業となりましたが、作業終了後、学校の先生・児童から感謝の言葉をいただき、地域貢献への意義を改めて感じた出来事となりました。

(NTT 東日本(株) 銚子営業支店支店長)

【出席報告】

合同例会 100%出席

【M U】

1/23: クラブ奉仕P委員会会議
松本君・高木君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ -	計	¥332,000
スモールコイン	¥ -	計	¥ 38,980
米山BOX	¥ -	計	¥ 38,383
希望の風	¥ -	計	¥215,271

2月11日(水) 祝日のため休会となります

次回のプログラム(2月18日)

「江戸時代の旅」

猿田 正城会員

お弁当: フランク(洋食)



Rotary 2月のロータリーレポート

118円